



## ★クラス順位・学年順位って？

2学期の中間テストや保護者懇談、さらに2年次選択科目の本調査も終わり、次回は12月9日(水)から、12日の土曜日を含め、14日(月)までの5日間の期末テストが、皆さんの当面の目標となります。中間テストの結果では、クラス順位やそれぞれの学科での席次を、気にしている生徒が一部いました。世の中には、頑張った人はそれ相応の結果が返ってくるのが順当であり、順位付けするのは当然という考え方もあり、一部の高校では詳細な成績データも配布されています。ただ成績の順位付けは、例えば国際文化科の160人がいれば、みんなで助け合い、学びあい、全体のレベルが上がっても、必ず160番目の人がいるわけで、非情な結果の告知となります。また逆に全体のレベルが下がっている場合、泉北では成績上位であっても、よそではまったく通用しません。

みんなが同じ条件で競争した結果ならば、その順位は妥当なものですが、人によっては、病気や体調不良、ケガ、あるいは家族や友人のことなど、それぞれ様々な背景や悩みを背負っています。そんな中で、テストでは良い成績を取れなくても、周囲の人には心配をかけないように笑顔で登校している友人より、自分の成績の順位が上であった場合、それを単純に喜ぶことができるでしょうか。

この国の教育は、ひたすら競争意識をあおることにより、大学や高校を偏差値によるピラミッド組織に仕立ててきました。そして今その弊害が、この国の病となっています。膨れ上がる不登校や中途退学者の数、引きこもりやニートの人たち。それぞれの悲しみを内に秘めながら、多くの方が、もがき苦しんでいます。一方、一部の泉北生は恵まれた環境にいるようです。雨の日は、親が自家用車で学校の正門をくぐりぬけ、1階の渡り廊下の下までの送迎、最近はなんと体育館の下足室まで車が来ている場合もあります。雨の日もまったく濡れていない生徒と、自転車で雨カッパ登校、全身びしょ濡れになっている生徒が、同じ1時間目の小テストを受ける場合、条件は全く違います。格差社会が進む中、せめて学校は、自己責任ではなくて、「誰も置き去りにしない教育」であって欲しいと、筆者は考えますが、みなさんはどう思われますか。

さらに成績順位については、テスト受験科目の平均点を上から並べたものです。実際の学年成績は、3つの学期成績を通しての平均点が、80点以上ならば評定5、65点以上79点までが評定4、45点以上64点までが評定3、40点以上44点までが評定2、39点以下が評定1(不合格)がつき、それらすべての科目の評定の平均値が大きな意味を持ちます。指定校推薦では、評定平均値の高い生徒が優先されます。学生支援機構の無利子の奨学金は、所得金額による特例を除いて、3.5以上が条件です。また国公立大学の学校推薦型入試は、4以上が必要とされます(高ければ高いほど有利です)。ですから皆さんが目指すことは、席次ではなくて、いかに評定4、評定5を獲得するかです。また逆に評定2を取らないことです。一般選抜入試の場合は実力重視ですから、この学校の定期テストで1番をとってもまったく意味がありません。1月に校内で全国模試が実施されますが、その実力試験でどのような位置づけになるかです。これは校内、大阪府下、さらに全国での、英語・国語・数学の成績順位が算出されます。高い成果を修めることが出来るように、52期生、みんなで学びあい、助け合い、励まし愛って、成長していきましょう。

また資格試験の取得、特に英検は、総合型選抜や学校推薦型入試で大きな意味を持ちます。先日、ある私大の入試課の方が来られて、総合型選抜では、出願条件に書かれていなくても、英検2級の取得は最低必要条件と言われました。3年生の1学期までに、ぜひ英検2級の取得を目指していきましょう。

例えば以下のような事例を考えてみてください。

私はテストの平均点が78,2点。学年でなんと、1番だよ。どの科目もすべて79点。ただし1科目だけ、64点を取ってしまったのがすごく残念。

しかしこれを評定に置き換えると、1科目は3、その他はすべて4で、評定平均値は3.9で4に及びません。これでは関関同立の指定校推薦を取ることは難しいですし、国公立大学の学校推薦型入試も厳しいです。

根高在 第 116 号

調 査 書 SAMPLE

1. 氏名		性別	現住所										
オツノ ユキ		女	東京都新宿区西新宿九丁目8番1号										
氏名		乙野 結衣											
生年月日		平成9年12月15日生											
学校名	公立	東京都立根津高等学校	平成25年4月 入学(学年)										
全日別	普通科		平成28年3月 卒業見込										
2. 各教科・科目の学習の記録													
教科	科目	評定			の 得 単 計 位	教科	科目	評定			の 得 単 計 位		
		第1学年	第2学年	第3学年				第1学年	第2学年	第3学年			
国語	国語総合	4			5	理科	理科課題研究						
	国語表現						体育	体育	3	4	3	8	
	現代文A							保健	5	4		2	
	現代文B		5	5	4			音楽I	5			2	
	古典A							音楽II					
古典B		3	4	7	美術I								
地理歴史	世界史A					芸術	美術II						
	世界史B		4		3		書道I						
	日本史A			5	2		書道II						
	日本史B		5	5	7		書道III						
	地理A						コミュニケーション英語基礎						
地理B	3			2	コミュニケーション英語I	4			4				
公民	現代社会	5			2	コミュニケーション英語II		4		3			
	倫理					コミュニケーション英語III			5	3			
	政治・経済			5	2	英語表現I			4	4			
	英語					英語表現II		4	4	4			
	英語活用					英語会話							
数学	数学I	4			4	家庭	家庭基礎		4	2			
	数学II		3	4	6		家庭総合						
	数学III						生活デザイン						
	数学A	3			2		情報	社会と情報	5		2		
	数学B		3		2			情報の科学					
数学活用					社会参加					1			
理科	科学と人間生活					奉仕		総合的な学習の時間			3		
	物理基礎		3		3			留				0	
	物理						計				96		
	化学基礎		3		3								
	生物基礎		4	4	6								
3. 各教科の評定平均値	国語	4.2	4.4	5.0	3.4	3.5	3.8	5.0	4.2	4.0	5.0	4.3	
	地理												
	公民												
	数学												
	理科												
4. 学習成績概観													
A段階		A	35人	B	128人	C	113人	D	8人	E	0人	合計	284人

例えば以下のような事例を考えてみてください。

私はテストの平均点が78,2点。学年でなんと、1番だよ。どの科目もすべて79点。ただし1科目だけ、64点を取ってしまったのがすごく残念。

しかしこれを評定に置き換えると、1科目は3、その他はすべて4で、評定平均値は3.9で4に及びません。これでは関関同立の指定校推薦を取ることは難しいですし、国公立大学の学校推薦型入試も厳しいです。

# ★これからの予定です。(感染症対策等より変更があるかもしれません)

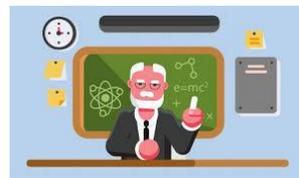
- 11月13日(金) 校外研修(神戸 人と防災未来センターと、北淡震災記念公園)  
国際文化科は8:00 若竹大橋のバス内点呼 / 総合科学科は8:10 若竹大橋のバス内点呼。16日にレポート提出
- 11月18日(水) 防災訓練(60分×5限)
- 11月28日(土) 10:00~11:30 PTA 本部役員講座「進学資金の準備と奨学金・教育ローンについて」  
12:30~15:30 PTA 文化講座 「クリスマスツリーを作ろう」
- 12月8日(火) テスト前日の午前中授業
- 12月9日(水)・10日(木)・11日(金)・12日(土)・14日(月) 2学期 期末テスト
- 12月15日(火)~28日(月) 午前中3コマの授業 28日3限目は終業式(通知表 配布)  
.....
- 1月5日(火) 1限目 3学期始業式 2限目から授業
- 1月20日(水) 全日 学力調査(英語・国語・数学と、進路HR(学問別・分野別調べ)
- 1月21日(木) 5限目は個人写真撮影
- 1月23日(土) 第3回 英検(一次は校内実施)
- 2月1日(月)~12日(金) アートフェスティバル(校内に、美術と書道の生徒作品が展示されます)
- 2月3日(水) 泉が丘のビッグアイで合唱コンクールは中止で、4・5限に視聴覚教室で音楽選択者による演奏会(日時は変更の可能性もあり)
- 2月4日(木) 5限目 進路キャリアHR(職業人のプロに聴く)
- 2月22日(月) 1年生の授業終了
- 2月24日(水)・25日(木)・26日(金)・27日(土)・3月1日(月) 3学期 学年末テスト
- 3月8日(月) 登校日 (答案返却)
- 3月17日(水) 登校日 (1年終業式)



## 11月19日(木) 進路HR

### Part 1 {先生に聞く、先生の学生時代と進路のありし日}

泉北高校で教えられている先生方から、お一人15分間、貴重なお話をお伺いします。3学期の2月4日には、各界で活躍される方をお呼びして、将来の進路を考えるための職業人講話の進路HRがありますが、今回はまず身近な方のお話を聴いて、またあるいは質問をして、君たちの人生の何かの参考になればと思います。また先生との心理的距離が、ぐっと近くなり、困っていることや悩んでいることを気軽に相談してくれれば嬉しいです。



先生方のお話は、・中・高・大学生活とそれぞれの時点での進路選択

- ・大学卒業後の道のり
- ・今の気持ち
- ・高校生の皆さんにメッセージ
- ・質問タイム となります。次の表の形で進めます。

	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組
14:20 ~ 14:35	平木 t (社会科)	林 t	東山 t	田村 t	萩原 t (理科)	梅川 t	西本 t
14:35 ~ 14:50	田村 t (養護)	平木 t	林 t	東山 t	藤本 t (数学科)	萩原 t	梅川 t
14:50 ~ 15:05	東山 t (国語科)	田村 t	平木 t	林 t	西本 t (理科)	藤本 t	萩原 t
15:05 ~ 15:20	林 t (社会科)	東山 t	田村 t	平木 t	梅川 t (国語科)	西本 t	藤本 t
15:20 ~ 15:25	レポート作成						



